

北海道幌延町

住所	〒098-3207 北海道天塩郡幌延町宮園町1-1
町長	野々村 仁
HP	https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/index.html
バイオマス産業都市選定年度	2018年度
バイオマス産業都市構想	https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/section/kikakuseisaku/le009f0000001a4l-att/le009f000001fmr9.pdf
担当部署	企画政策課企画政策グループ
連絡先 TEL	01632-5-1114
連絡先 FAX	01632-5-2971
連絡先 E-mail	kikaku@town.horonobe.lg.jp



事業化プロジェクトの概要

名称	資源循環型バイオガスプラントプロジェクト	
実施主体	酪農家、事業組合等（検討中）	
使用する技術	乳牛ふん尿等の嫌気性発酵によるバイオガス化	
実施体制	プラントメーカー	検討中
	設計・施工業者	検討中
概要 (計画)	バイオマス原料	乳牛ふん尿
	FITの適用	<input checked="" type="checkbox"/> FIT適用 <input type="checkbox"/> FIT対象外

バイオマス事業の進捗状況

事業化プロジェクト	進捗状況
資源循環型バイオガスプラントプロジェクト	比較的小規模（飼養頭数100頭程度）な酪農家が導入可能となる家畜ふん尿バイオガスプラントモデル構築に向け、プラントの基本仕様作成、事業化に向けた検討及び酪農家等関係者への情報提供・収集調査を実施。

停滞要因・運営上の課題

事業化プロジェクト	停滞要因
資源循環型バイオガスプラントプロジェクト	当町で導入検討を進めている家畜ふん尿を主原料とした100頭規模バイオガスプラント建設費については、独自調査を行った結果、昨今の建設費高騰とあいまって、推定2億円と算定しており、導入コストが高く、中小酪農家にとっては導入が困難な状況となっています。しかしながら北海道酪農家の80%は飼養頭数100頭以下であり、家畜ふん尿バイオマスはFIT制度による買取価格に優位性があるものの、送電網容量の制限等により、売電によるメリットを十分に受けることができないことや、多額の費用負担が困難であることを理由に導入を決断できない状況にある。また、プラント収支計画検討においても、20年の長期間で検討する必要があり、後継者のいない酪農家が導入を検討することが非常に困難な状況にある。

バイオマス産業都市推進協議会による支援の希望の有無（有→無）

受けたい支援内容

現状の計画検討段階では支援を要しないが、今後、具体的に事業化を進めるにあたり
当町の取組（実施計画等）に対する客観的分析・助言。

地域レジリエンス対応の取組・計画

・酪農家（経営者・後継者）、JA、建設業者、商工会、町議会議員等事業関係者を対象とした個別ヒアリング、勉強会・意見交換会等の実施